



6月は環境月間です 資源回収で地球に優しく

6月5日は環境の日と環境基本法により定められており、6月の1か月間を環境月間として、全国各地で美化活動や節電の啓発等さまざまな取り組みが行われています。

地球環境を考え、より良い未来を作っていくためには、一人ひとりが「環境を守っていく」という意識を持つこと、そして、実際に行動していくことが大切です。

今回は資源回収に取り組んでおられる、わたむぎの里エコドームでの取り組みをご紹介します。

何に生まれ変わるか 意識して

わたむぎの里エコドームでは現在16品目の資源を回収しています。ドームで作業をしている方は、回収した資源ごみがどのようなものへ再資源化されているのかを正しく理解して仕分け等の作業をされています。例えば、古着等は組成を確認して、ウエス（工場で使用される布きん）にできるものと、それ以外で選別し、ウエスにできないものは発展途上国へ輸出されます。ペットボトルは服などに使われる繊維やアスファルトの原料に、廃食油はバイオディーゼル燃料になります。次にど

んな形になるのか姿が見えていると、資源回収や作業の意識の向上、やる気につながるそうです。

地域への還元を

多くの方に資源回収に参加してもらえるように、そして、参加された方に何か還元できないか、と考えられスタンプカードを配布されています。エコドームの営業時間中に資源を持ち込まれた方はスタンプをひとつ押ししてもらい、20個集めた方には、まちの指定ゴミ袋や再生紙を使用したトイレットペーパーなど資源回収に関係したもので、わたむぎの里作業所で作られている

ラスク等のどれかひとつをプレゼントされています。

試行錯誤を重ねて

わたむぎの里作業所の職員でエコドームの担当をされている新宅勇さん（あきら）は、エコドームは「まだまだ完成ではない」と言われます。定期的に県外のエコドームの視察等に行かれ、日野町でも取り組めるものはないかと考え、実際に形にしていくためにはどういったことが必要なのか、より良い資源回収を実施するため試行錯誤されています。

そして、「資源の回収は地域住民皆さんの協力があってできていることです。開設当初は回収していなかったびんや自転車、乾電池等は住民の方の要望により回収を開始しました。これからも住民の皆さんのニーズを聞きながら、より多くの方に資源回収の意識を高めてもらい、エコドームを利用してもらいたい」とお話をいただきました。

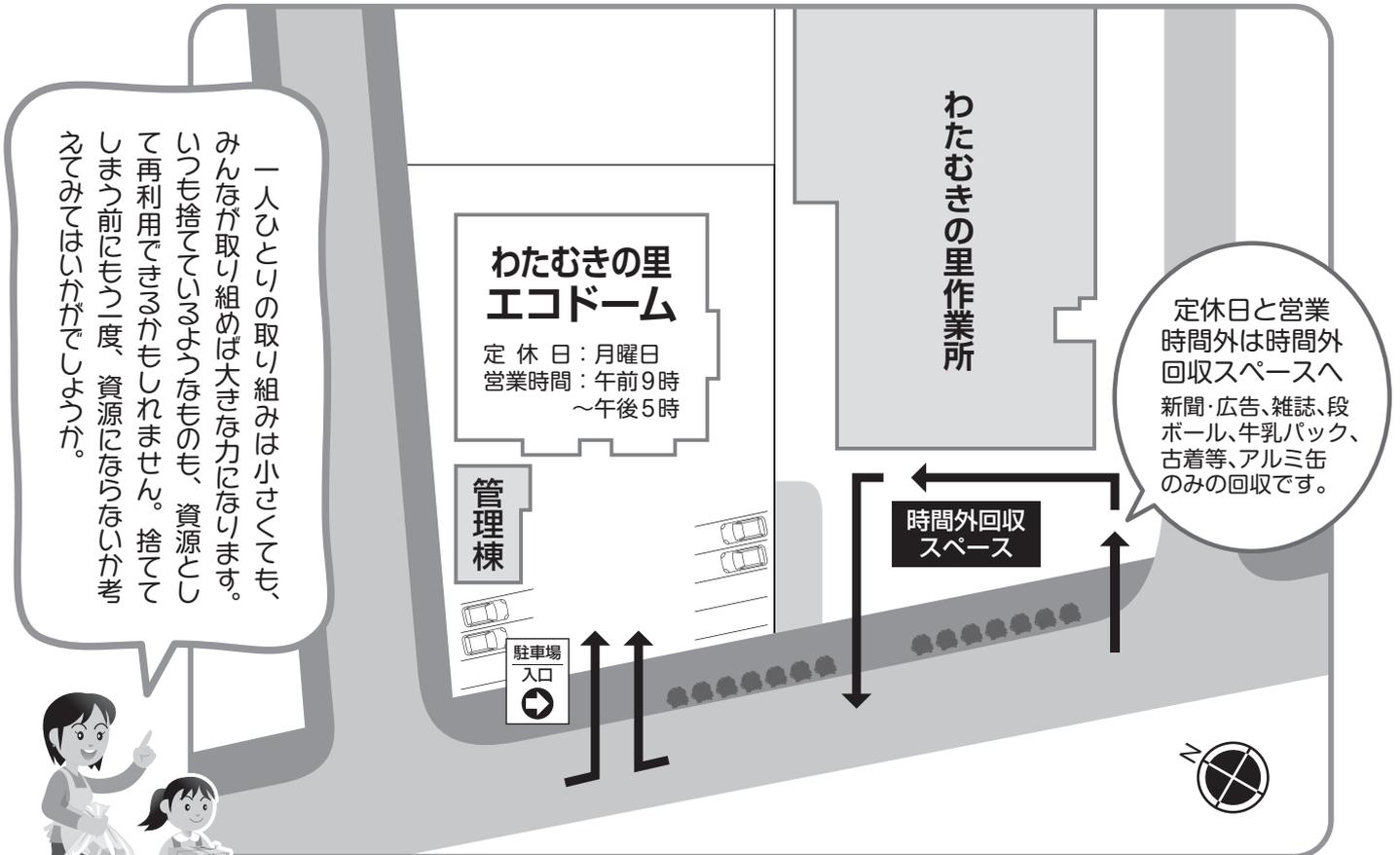
わたむきの里エコドームで回収できるもの

区分	新聞・広告 	雑誌 	段ボール 	牛乳パック 	古着等
出し方	必ずひもで縛るか、袋に入れて品目別に分ける				

区分	びん 	アルミ缶 	スチール缶 	ペットボトル 	ペットボトルキャップ 	白色トレイ
出し方	軽くすすいで、品目別にコンテナに入れる					

区分	自転車 	CD・DVD 	廃食油 	廃蛍光管 	乾電池
出し方	そのまま持って行き、手続きをします	ケースから出す	容器に入れて指定の場所へ	袋から出して指定の容器へ	

上記以外のものは回収されていません。日野町資源・ごみ収集カレンダー等を参考に決められた方法で処分してください。



◆お問い合わせ先 わたむきの里エコドーム（日野町上野田805番地） ☎⑤1061
住民課 生活環境交通担当 ☎⑥6578